

平成28年 南砺市市民意識調査 概要

I 調査実施要領

(1) 調査の目的

この調査は、「南砺市総合計画後期基本計画」における成果指標の目標値の達成率などから施策の実行度合いや成果の把握の参考資料とすることを目的とする。

(2) 調査対象

南砺市在住の満20歳以上（平成28年5月31日時点）の方から2,500人を無作為に抽出。

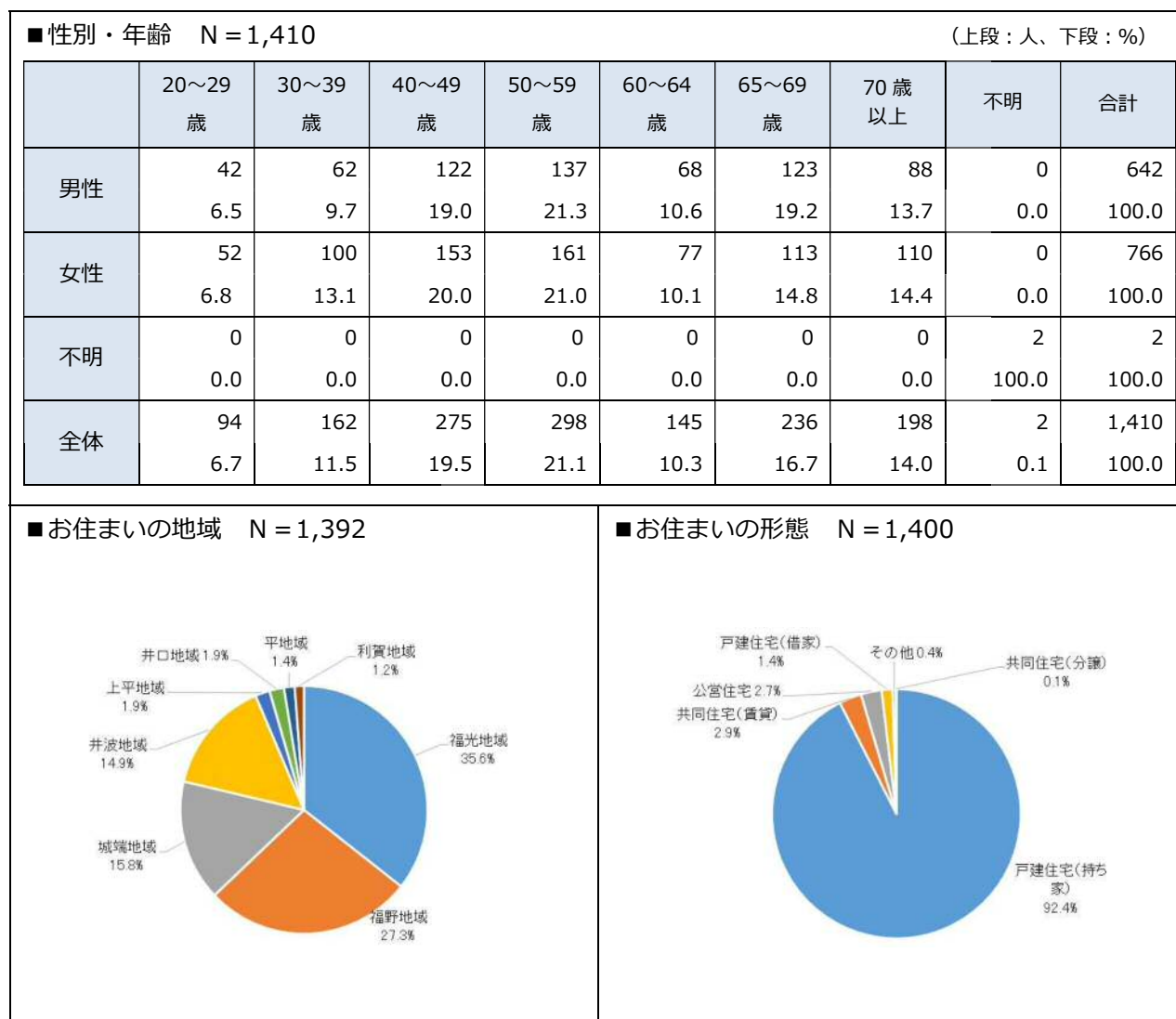
(3) 有効回答数

1,410人（有効回答率56.4%）

(4) 調査方法

宅配便による配布、郵送による回収

(5) 回答者の性別・年代・住まいの地域



II 調査結果の概要

1 自然環境の保全（問10）	2 エコビレッジ活動（問11）																								
<p>・自然環境が美しく保たれているかについては、8割強の市民が美しく保たれていると思っている。</p> <p>■自然環境の保全 N=1,383</p> <table border="1"> <caption>自然環境の保全の回答割合</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>どちらかといえば思う</td> <td>55.8%</td> </tr> <tr> <td>思う</td> <td>25.6%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえない</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>思う</td> <td>4.6%</td> </tr> <tr> <td>そう思わない</td> <td>6.9%</td> </tr> </tbody> </table>	回答	割合	どちらかといえば思う	55.8%	思う	25.6%	どちらかといえない	7.1%	思う	4.6%	そう思わない	6.9%	<p>・エコビレッジ活動についてみると、「ごみの再資源化」、「ごみの減量化」が72.9%と数値が高く、次いで「地球温暖化防止の対策」が32.0%となっている。</p> <p>■エコビレッジ活動TOP3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">1位</th> <th colspan="2">3位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ごみの再資源化</td> <td>ごみの減量化</td> <td colspan="2">地球温暖化防止の対策</td> </tr> <tr> <td>72.9%</td> <td>72.9%</td> <td colspan="2">32.0%</td> </tr> </tbody> </table>	1位		3位		ごみの再資源化	ごみの減量化	地球温暖化防止の対策		72.9%	72.9%	32.0%	
回答	割合																								
どちらかといえば思う	55.8%																								
思う	25.6%																								
どちらかといえない	7.1%																								
思う	4.6%																								
そう思わない	6.9%																								
1位		3位																							
ごみの再資源化	ごみの減量化	地球温暖化防止の対策																							
72.9%	72.9%	32.0%																							

3 市内幹線道路（問12、13）	4 生活道路（問14、15）																		
<p>・市内の幹線道路については、4割弱の市民が不都合を感じている。</p> <p>・不都合な理由は、「危険箇所がある」が最も多く、5割弱となっている。</p> <p>■市内幹線道路の不都合な理由TOP3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>危険箇所がある</td> <td>道路がきちんと舗装されていない</td> <td>右折レーンがない</td> </tr> <tr> <td>47.6%</td> <td>28.7%</td> <td>20.3%</td> </tr> </tbody> </table>	1位	2位	3位	危険箇所がある	道路がきちんと舗装されていない	右折レーンがない	47.6%	28.7%	20.3%	<p>・生活道路については、5割弱の市民が不都合を感じている。</p> <p>・不都合な理由は、「危険箇所がある」が最も多く、4割強となっている。</p> <p>■市内生活道路の不都合な理由TOP3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>危険箇所がある</td> <td>道路がきちんと舗装されていない</td> <td>カーブミラーやガードレールがない</td> </tr> <tr> <td>41.8%</td> <td>24.5%</td> <td>21.5%</td> </tr> </tbody> </table>	1位	2位	3位	危険箇所がある	道路がきちんと舗装されていない	カーブミラーやガードレールがない	41.8%	24.5%	21.5%
1位	2位	3位																	
危険箇所がある	道路がきちんと舗装されていない	右折レーンがない																	
47.6%	28.7%	20.3%																	
1位	2位	3位																	
危険箇所がある	道路がきちんと舗装されていない	カーブミラーやガードレールがない																	
41.8%	24.5%	21.5%																	

5 公共交通機関（問17）																									
<p>・公共交通機関については、9割強の市民が「あまり利用しなかった」と答えている。</p> <p>・使いやすさについては、3割強（JR城端線）、6割弱（市営バス）が「わからない」と答えている。</p>																									
<p>■公共交通機関の使いやすさ（JR城端線）</p> <p>N=1,231</p> <table border="1"> <caption>公共交通機関の使いやすさ（JR城端線）の回答割合</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>わからない</td> <td>33.5%</td> </tr> <tr> <td>使いやすいと感じない</td> <td>28.8%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば使いやすいと感じない</td> <td>17.1%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば使いやすいと感じる</td> <td>14.6%</td> </tr> <tr> <td>使いやすいと感じる</td> <td>6.0%</td> </tr> </tbody> </table>	回答	割合	わからない	33.5%	使いやすいと感じない	28.8%	どちらかといえば使いやすいと感じない	17.1%	どちらかといえば使いやすいと感じる	14.6%	使いやすいと感じる	6.0%	<p>■公共交通機関の使いやすさ（市営バス）</p> <p>N=1,191</p> <table border="1"> <caption>公共交通機関の使いやすさ（市営バス）の回答割合</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>わからない</td> <td>59.7%</td> </tr> <tr> <td>使いやすいと感じない</td> <td>22.6%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば使いやすいと感じない</td> <td>9.5%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば使いやすいと感じる</td> <td>6.1%</td> </tr> <tr> <td>使いやすいと感じる</td> <td>2.1%</td> </tr> </tbody> </table>	回答	割合	わからない	59.7%	使いやすいと感じない	22.6%	どちらかといえば使いやすいと感じない	9.5%	どちらかといえば使いやすいと感じる	6.1%	使いやすいと感じる	2.1%
回答	割合																								
わからない	33.5%																								
使いやすいと感じない	28.8%																								
どちらかといえば使いやすいと感じない	17.1%																								
どちらかといえば使いやすいと感じる	14.6%																								
使いやすいと感じる	6.0%																								
回答	割合																								
わからない	59.7%																								
使いやすいと感じない	22.6%																								
どちらかといえば使いやすいと感じない	9.5%																								
どちらかといえば使いやすいと感じる	6.1%																								
使いやすいと感じる	2.1%																								

6 災害時の備え (問18)

- ・災害時の食料や水を3日以上備えている市民は2割強となっている。
- ・住宅用火災警報器、消火用器具については、大半が備えている。

■市民が取り組む災害に対する備えTOP3

1位	2位	3位
住宅用火災警報器	消火用器具を備えている	災害時に避難する場所を決めている
81.5%	68.0%	40.6%

7 交通安全活動 (問19)

- ・市民の4割弱が過去1年間に交通安全活動に参加しており、活動内容は「交通安全街頭指導」、「交通安全教室」などである。

■交通安全活動や行事への参加

N=1,389

回答	割合
いいえ	64.1%
はい	35.9%

8 犯罪被害の防止 (問21)

- ・犯罪を防止するため、自動車内の貴重品の管理、家の戸締り、悪徳商法に注意を払っている市民が多い。

■犯罪に遭わない取り組みTOP3

1位	2位	3位
自動車を離れるときに、貴重品やバッグなどを車内に置かない	出かけるときは必ず戸締りを確認する	悪質商法などの消費者被害にあわないよう気をつけている
71.6%	71.2%	63.2%

9 クーリング・オフ制度 (問22)

- ・8割強の市民が言葉も意味も知っている。

■クーリング・オフ制度を知っているか

N=1,391

回答	割合
言葉も意味も知っていた	83.8%
言葉は知っていたが意味は知らなかった	10.0%
言葉も意味も知らなかった	6.3%

10 冬季の暮らし (問23、24)

- ・7割弱の市民が冬季も安心して暮らせると答えている。
- ・冬季の暮らしが不安だという要因には、住居や道路の除雪の不十分さがある。

■冬季の暮らし

N=1,392

回答	割合
安心して暮らすことができる	14.7%
どちらかと言えば安心して暮らすことができる	50.6%
どちらかと言えば安心して暮らすことができない	28.6%
安心して暮らすことができない	6.0%

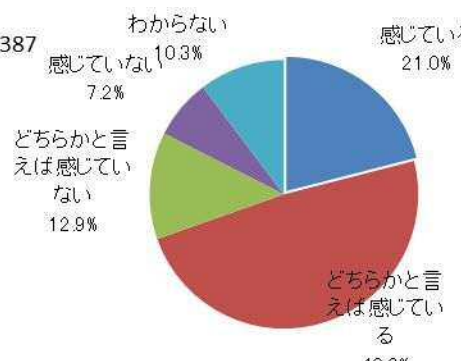
11 冬季のイベント (問25)

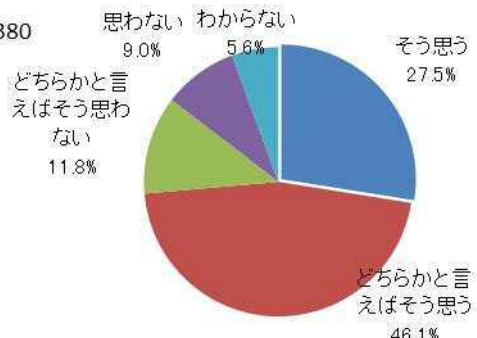
- ・8割の市民が過去1年に雪を活用したイベントへ参加していない。
- ・利賀地域の方は7割強、上平地域の方は4割強が冬季のイベントに参加している。

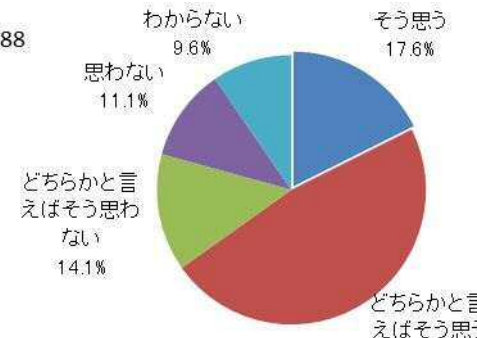
■過去1年の冬季のイベントへの参加状況

N=1,395

回答	割合
いいえ	83.8%
はい	16.2%

12 南砺市への誇り・愛着（問26）	13 現在の住まいの住みやすさ（問27、28）									
<p>・7割弱の市民が南砺市への誇り・愛着を感じている。</p> <p>■南砺市への誇り・愛着</p> <p>N=1,387</p> 	<p>・7割強の市民は、現在の住まいが住みやすいと答え、今後も住み続けたいと思っている。</p> <p>・住みにくいと答えた方の理由の約6割は「老朽化している」である。</p> <p>■現在の住まいが住みにくい理由TOP3</p> <table border="1" data-bbox="798 425 1436 672"> <thead> <tr> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>老朽化している</td> <td>耐震化されていない</td> <td>克雪化されていない</td> </tr> <tr> <td>62.1%</td> <td>51.1%</td> <td>27.2%</td> </tr> </tbody> </table>	1位	2位	3位	老朽化している	耐震化されていない	克雪化されていない	62.1%	51.1%	27.2%
1位	2位	3位								
老朽化している	耐震化されていない	克雪化されていない								
62.1%	51.1%	27.2%								

14 現在住む地域に住み続けたいか（問29、30、31） <p>・今後も住み続けたい理由は「自然が豊かだから」、「通勤・通学に便利な立地だから」がある。</p> <p>・引っ越しをしたいと答えた理由は「買い物など日常生活に不便」、「公共交通が不便」がある。</p> <p>■現在住む地域に住み続けたい理由 TOP3</p> <table border="1" data-bbox="143 963 766 1187"> <thead> <tr> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自然が豊かだから</td> <td>通勤・通学に便利な立地だから</td> <td>高齢者支援が充実しているから</td> </tr> <tr> <td>58.5%</td> <td>26.3%</td> <td>10.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■現在住む地域から引っ越したい理由 TOP3</p> <table border="1" data-bbox="143 1232 766 1433"> <thead> <tr> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>買い物など日常生活に不便</td> <td>公共交通が不便</td> <td>医療機関が充実していない</td> </tr> <tr> <td>48.1%</td> <td>40.3%</td> <td>33.8%</td> </tr> </tbody> </table>	1位	2位	3位	自然が豊かだから	通勤・通学に便利な立地だから	高齢者支援が充実しているから	58.5%	26.3%	10.2%	1位	2位	3位	買い物など日常生活に不便	公共交通が不便	医療機関が充実していない	48.1%	40.3%	33.8%	15 快適な景観・まちなみ（問32、33） <p>・7割強の市民が、快適な景観の中で暮らしていると思っている。</p> <p>・6割強の市民が、まちなみが美しく保たれていると思っている。</p> <p>■快適な景観の中で暮らしていると思うか</p> <p>N=1,380</p> 
1位	2位	3位																	
自然が豊かだから	通勤・通学に便利な立地だから	高齢者支援が充実しているから																	
58.5%	26.3%	10.2%																	
1位	2位	3位																	
買い物など日常生活に不便	公共交通が不便	医療機関が充実していない																	
48.1%	40.3%	33.8%																	

16 河川の汚染（問34、35） <p>・4割強の市民が、身近な河川が汚れていると感じており、その理由は「ゴミが落ちている」、「雑草が茂っている」である。</p> <p>■川が汚れていると感じる理由TOP3</p> <table border="1" data-bbox="143 1702 766 1926"> <thead> <tr> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ゴミが落ちている</td> <td>雑草が茂っている</td> <td>河川の水が汚れている</td> </tr> <tr> <td>62.2%</td> <td>59.1%</td> <td>33.6%</td> </tr> </tbody> </table>	1位	2位	3位	ゴミが落ちている	雑草が茂っている	河川の水が汚れている	62.2%	59.1%	33.6%	17 就労しながらの育児（問37） <p>・18歳未満の子どもを持つ家庭の7割弱が、就労しながら無理なく子育てできていると思っている。</p> <p>■就労しながら無理なく子育てができるか</p> <p>N=488</p> 
1位	2位	3位								
ゴミが落ちている	雑草が茂っている	河川の水が汚れている								
62.2%	59.1%	33.6%								

18 子ども・子育て（問38、39）		
<ul style="list-style-type: none"> ・就労しながら無理なく子育てできる理由としては、「保育サービスの充実」、「子どもを預ける場の充実」、「医療費助成の充実」がある。 ・反対に就労しながら無理なく子育てできない理由としては、「小児医療の不十分さ」、「子どもを遊ばせる場の少なさ」がある。 		
■就労しながら無理なく子育てできる理由 TOP3		
1位	2位	3位
保育サービスが充実	子どもを預ける場が充実	医療費助成が充実
57.1%	56.5%	46.5%
■就労しながら無理なく子育てできない理由 TOP3		
1位	1位	3位
小児医療体制が不十分	子どもを遊ばせる場が不十分	保育サービスが不十分だから
38.2%	30.9%	30.1%

19 子育てへの喜びや生きがい（問40）
<ul style="list-style-type: none"> ・18歳未満の子どもを持つ家庭の9割強が、子育てに喜びや生きがいを感じている。
■子育てに喜びや生きがいを感じるか

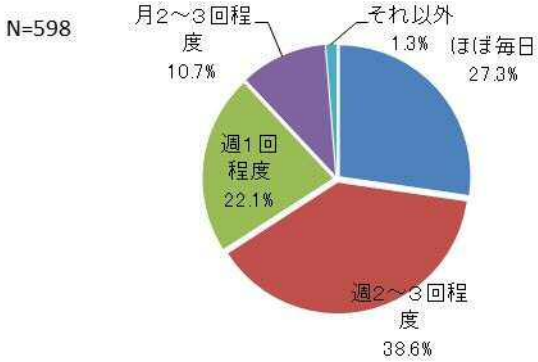
20 心身の健康（問41）
<ul style="list-style-type: none"> ・約半数の市民は、心身ともに健康であると感じている。
■心身の健康

21 学習活動（問42、43、44）
<ul style="list-style-type: none"> ・3割弱の市民は、日頃から学習活動に取り組んでいる。 ・学習活動に取り組んでいる方の活動頻度は、「月2～3回程度」が最も多い。 ・3割強の市民は、学んだことを他の人に教えたり、生活に役立てたりしている。
■学習活動の頻度

22 スポーツ・運動（問45、46）

- ・ 4割強の市民は、日頃からスポーツや運動を行っている。
- ・ スポーツや運動を行っている方の活動頻度は、「週に2～3回程度」が最も多い。

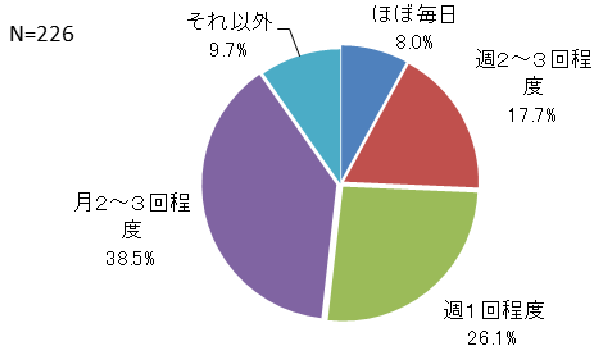
■スポーツ・運動の頻度



23 文化活動（問49、50）

- ・ 8割強の市民は、積極的に文化活動を行っていない。
- ・ 文化活動を行っている方の活動頻度は、「月2～3回程度」が最も多い。

■文化活動の頻度



24 買い物（問51、52）

- ・ 4割弱の市民は、地場産の食材を意識して購入している。
- ・ 食料品、日用雑貨などの購入頻度が高い物は、南砺市内で購入している方が多い。
- ・ 衣料品、電化製品、趣味に関するものなどは、「砺波市」、「高岡市」、「インターネット」で購入する方が多い。

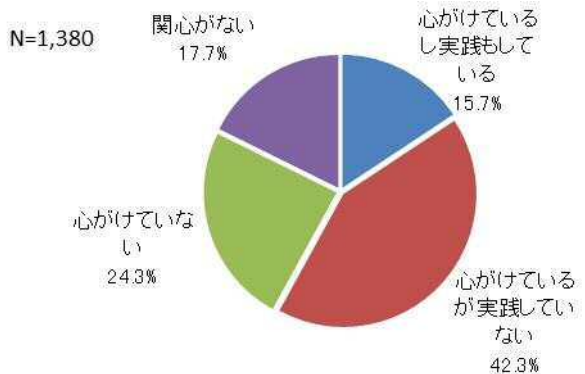
■市民が買い物をする行き先TOP3

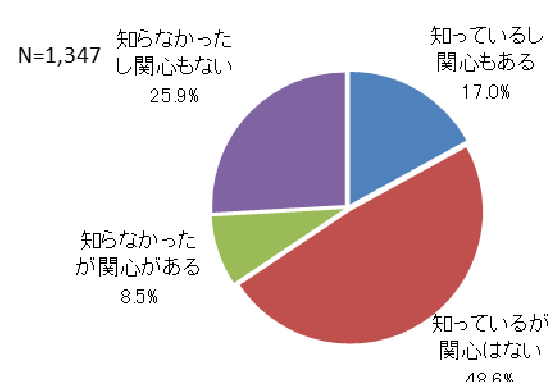
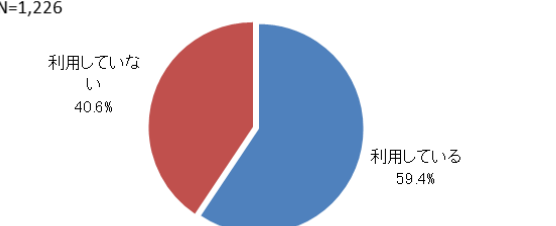
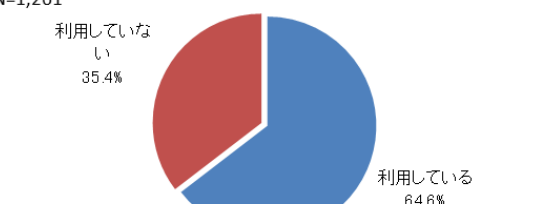
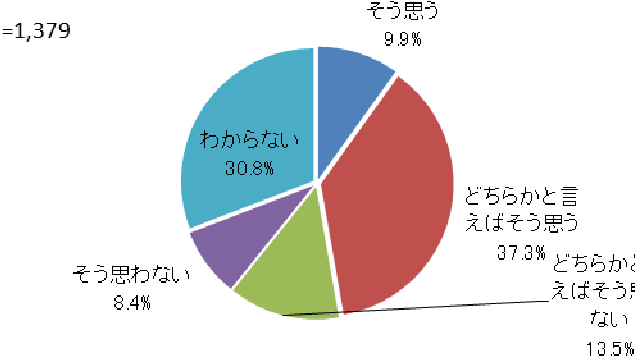
	1位	2位	3位
食料品	南砺市内	砺波市	金沢市
	88.1%	49.6%	2.8%
日用雑貨	南砺市内	砺波市	高岡市
	74.5%	53.9%	6.0%
衣料品	砺波市	南砺市内	金沢市
	59.0%	34.6%	20.0%
電化製品	砺波市	南砺市内	インターネット
	75.2%	31.9%	10.1%
趣味に関するもの	砺波市	南砺市内	インターネット
	42.1%	24.8%	22.7%

25 観光・おもてなし（問54）

- ・ 観光などで来訪された方に対し、おもてなしを心がけ、実践もしている市民は2割弱である。

■おもてなしの心がけ・実践



<p>26 協働のまちづくり (問55、56、57、58)</p>	<p>27 ボランティア活動 (問59、60、61)</p>												
<ul style="list-style-type: none"> 協働のまちづくりについては、「自治振興会、自治会、町内会等の地域の団体が主体で実施するまちづくり事業」に取り組んでいる人が最も多い。 9割強の世帯が、自治会・町内会に加入しており、8割弱の市民は過去1年間に自治会・町内会行事に参加している。 自治会・町内会に加入していない方の理由には、「自治会町内会活動が活動していることを知らない」「時間がない」、「自治会町内会活動に興味がない」がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 5割弱の市民は、過去1年間にボランティア活動に参加している。 活動内容は「環境分野のボランティア活動」が7割強と最も多い。 ボランティア活動に参加していない方の理由には、「どのようなボランティア活動があるかを知らない」、「時間がない」、「ボランティア活動に興味がない」などがある。 												
<p>28 男女共同参画 (問62)</p>	<p>29 マイナンバーカード (問63、64)</p>												
<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画について、知っているし関心もある方は2割弱である。 <p>■男女共同参画の認知・関心</p> <p>N=1,347</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>認知・関心</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知っているし関心もある</td> <td>17.0%</td> </tr> <tr> <td>知っているが関心はない</td> <td>48.6%</td> </tr> <tr> <td>知らなかったが関心がある</td> <td>8.5%</td> </tr> <tr> <td>知らなかったし関心もない</td> <td>25.9%</td> </tr> </tbody> </table>	認知・関心	割合	知っているし関心もある	17.0%	知っているが関心はない	48.6%	知らなかったが関心がある	8.5%	知らなかったし関心もない	25.9%	<ul style="list-style-type: none"> 8割弱の市民は、住民基本台帳カードからマイナンバーカードに切り替わったことを知っている。 マイナンバーカードに求める機能として、「行政窓口での各種手続きの簡素化」、「健康・医療・子育てに関する分野」での活用を求める意見が多い。 		
認知・関心	割合												
知っているし関心もある	17.0%												
知っているが関心はない	48.6%												
知らなかったが関心がある	8.5%												
知らなかったし関心もない	25.9%												
<p>30 情報通信機器 (問65)</p>	<p>31 行政サービス (問66、67)</p>												
<ul style="list-style-type: none"> 8割強の市民がパソコン、スマートフォン、タブレットを利用しインターネットを利用している。 <p>■インターネット (スマートフォン・タブレット) の利用</p> <p>N=1,226</p>  <p>■インターネット (パソコン) の利用</p> <p>N=1,261</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 南砺市の行政サービスの水準については、5割弱の市民が適正であると思っている。 適正でないと思う理由には、「手続き・対応に時間がかかる」、「窓口等での接遇が悪い」などがある。 <p>■行政サービス水準の適正</p> <p>N=1,379</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>そう思う</td> <td>9.9%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>30.8%</td> </tr> <tr> <td>どちらかと言えばそう思う</td> <td>37.3%</td> </tr> <tr> <td>どちらかと言えばそう思わない</td> <td>13.5%</td> </tr> <tr> <td>そう思わない</td> <td>8.4%</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	割合	そう思う	9.9%	わからない	30.8%	どちらかと言えばそう思う	37.3%	どちらかと言えばそう思わない	13.5%	そう思わない	8.4%
満足度	割合												
そう思う	9.9%												
わからない	30.8%												
どちらかと言えばそう思う	37.3%												
どちらかと言えばそう思わない	13.5%												
そう思わない	8.4%												

32 南砺市の満足度（問 68）

- ・南砺市の満足度について、満足度が高いものは「水道の安定供給や安全性」、「衛生的な生活への下水道の普及」などがある。
- ・一方で、満足度が低いものには「地域に活力を生み出す雇用対策」、「公共交通機関の利便性」などがある。

■ 市政への満足度

